

十月十一日

昨夜は関西の渡辺豊和さんが上京し、再度世田谷村を見学した。十六時から二十四時過まで話した。先週の伊東さんに引き続き古い友人と会えた。豊和さんはここ六年程建築を作っておらず、他人事ながら心配していたが、どうやら又作るうという気が湧いてきたらしい。それを宣言する為にわざわざ来てくれたようだ。

何年経っても何十年経っても変わらぬ人に会うのは安心できる。変わらぬ芯があるからだ。渡辺豊和の力は鈍っていない。これが錆びついたらおたがい死んでも同然だからな。しかし六四才で再デビューするという気持は立派だが、困難極まる事ではある。

いまだそんな建築家は歴史の上には居ないのではないか。十四時新宿東京ガスビル、オゾンで日本フィンランド・デザイン協会のフィンランド展打合せ。若宮館長フィンランド側メンバー等とフィンランド側メンバーはコマースャリズムとは、と言うよりも俗事とは余りにも遠い展示内容でオゾンは美術館ではないのでチョツと心配である。いかにもフィンランドだな。ある意味では図太い。心配するこちらの方が本当はおかしいのか。静けさがテーマの展覧会なのだが入場者数も静かではやっぱり困るよね。十五時過ぎおわる。十六時大学へ。製図をみる。十七時過ぎまで。NHK、TVの収録をチョツト。十八時より中国の件打合せ。建築学科は外国人教師をまねく事になりそう、私も少しその件で働かなくてはならない。二十一時過世田谷村へ戻る。今夜はやは

り疲れて打合わせは休み。二三時このメモを記して休む。ああ、シンド。

十月十二日

朝地下で⁵朝山邸の赤入レスケツチを安藤に渡す。⁵は私にとつても初めて試みてみようというのが幾つかあるので面白い。何とかこれで水準に達しただろう。十時国分寺岡さん訪問⁹の打合わせ。建て替えではなく、修繕案にしようという事になった。ベトナムのバイク修理工のサーヴェイが役に立つ事になりそうだ。岡さん夫婦から玄関の水ガメに咲いていた水草をいただいで帰る。よい天気の日で安田金物のオヤジのアイサツも元気が良い。地下で幾つかの打合わせ後、十九時上にあがる。